



PS-A121

モノラルパワーアンプ



Victor Original Sound System の略で、プロオーディオ機器の登録商標です。

— お買上げありがとうございます —

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。

目次

特長	2
安全上のご注意	2
取扱い上のご注意	2
セッティングの前に	3
保証とアフターサービスについて	3
各部の名称と働き	4
フロントパネル	4
リアパネル	5
接続のしかた	6
83Ω(100Vライン)としてご使用されるとき	6
8Ωとしてご使用されるとき	6
入力の並列接続について	6
モニター出力端子の接続について	7
接続ケーブル	7
ラックへの組み込みについて	8
EIAラック(PS-R41)への組み込みについて	8
システムラック(PS-R20)への組み込みについて	9
ブロックダイアグラム	10
特性図	10
仕様	11

このたびは モノラルパワーアンプ PS-A121を お買いあげいただき ありがとうございます。

特 長

- 定格出力で 120W/83Ω (100V ライン) または 120W/8Ω のパワーが得られます。
- 位相特性に優れた MOS FET ドライブ回路の採用で高域の安定動作を実現します。
- 入力には電子バランス回路を採用。トランスによる音質劣化がありません。
- 入力端子はキャノンタイプ 2 種類 (XLR-3-31 相当と XLR-3-32 相当) と 6.3φ ステレオフォノジャックを装備しています。

- PA 用として保護回路も強化

電源スイッチ“ON”“OFF”時のポップノイズを防ぐミューティング回路と、過負荷・出力短絡時にオーバードライブを防ぐ ASO リミッター、DC 電圧と熱を検出し、出力を遮断する保護回路を装備しています。

- SIGNAL と CLIP 状態が一目で監視できるシグナルインジケータ採用。
- パワートランジスタを 2 パラレルプッシュプルで使用。強制空冷付大型ヒートシンクと合わせて、余裕のある動作が可能です。
- EIA ラックマウント対応。

安全上のご注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらずにかならずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの継ぎ足しは火災や感電の原因となりますので、おやめください。
- コードが熱器具に触れたり、近づくことがないようにしてください。被覆が破れたり変形し危険です。
- セット内部に触れることは危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は販売店へお任せください。
- 万一、本機に異常(異常な音・におい・煙など)があったとき、あるいは内部に異物が混入したり、水が入ったときなどは、ただちに電源スイッチを切り、必ず電源コードを抜いて、販売店にご連絡ください。
- 本機は日本国内専用です。
必ず商用電源 AC100V 50/60Hz でご使用ください。

取扱い上のご注意

- 窓をしめきった自動車の中や直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。
変形、変色、故障することがあります。
- 湿気の多い場所または油煙や湯気が当るような場所は避けてください。故障の原因となります。
- 製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かないでください。
- 傾いた所や弱々しい台など、不安定な場所には置かないでください。万一、落ちたり倒れたりすると大変危険です。
- キャビネットが汚れたら中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布でふきとります。シンナーやベンジン、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤(かそざい)の働きにより変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

セッティングの前に

●設置場所について

本機の上に信号レベルの低い機器を設置すると、本機のパワートランスの漏れ磁束によりハム雑音が出る場合があります。**CD**プレーヤ、テープデッキなどはできるだけ離して設置してください。

●放熱について

大出力動作で長時間ご使用いただく時は、本機の周囲（特にフロント・リアパネル側）に十分なスペースを取り、空気の流通をよくしてください。

●電源スイッチの投入について

すべての結線が終わってから本機の電源を“ON”にしてください。また、接続コードの抜き差しは本機の電源を“OFF”にしてから行ってください。

ミキサ、イコライザなどと組み合わせてご使用になる時は、本機の電源スイッチは最後に入れてください。他の機器の電源投入ノイズ等でスピーカが破損するのを防止できます。

電源を切る時は、まず本機から“OFF”にすることで、同様の効果が得られます。

多数のアンプをご使用になる時は、電源スイッチを同時に入れないようにしてください。同時に電源を入れますと、突入電流のため商用電源(**AC100V**)のブレーカが切れる場合があります。十分な容量のある電源に接続してください。

●ミューティング動作について

電源を入れてから**3～5**秒間はプロテクト表示ランプが点灯し、音が出ません。これはミューティング動作のためで、故障ではありません。

●83Ω(100Vライン)と8Ωの切換えについて

83Ω(100Vライン)使用時は、リアパネルの **LOAD IMPEDANCE** の切換スイッチを **83Ω(100V)** 側に切換えて、**83Ω(100V)**側スピーカ端子へ**100V**ラインを接続してください。

8Ω使用時はリアパネルの **LOAD IMPEDANCE** の切換スイッチを **8Ω**側に切換えて、**8Ω**側スピーカ端子へスピーカを接続してください。

●8Ωと83Ωの同時使用はできません。

●8Ω出力での並列運転はできません。

●83Ω(100Vライン)の並列運転はできません。

保証とアフターサービスについて

保証の記載内容ご確認と保存について

この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間について

保証期間は、お買上げ日より**1**年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理致します。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。

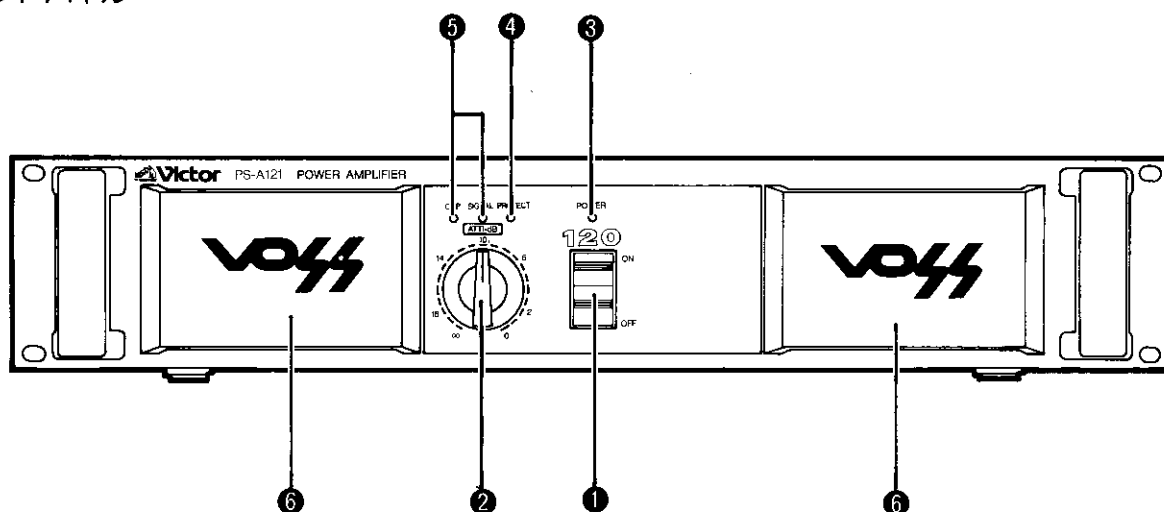
修理を依頼されるときは

修理を依頼されるときは、お手数でももう一度、各部の接続についてお調べください。それでも具合が悪いときは、ACコンセントを抜いて、次のことをお知らせください。

- ・機種名：**PS-A121**
- ・故障の状態をできるだけ詳しく
- ・ご購入年月日　ご住所　ご氏名　電話番号

各部の名称と働き

■フロントパネル



① POWER 電源スイッチ

スイッチを“ON”側にすると電源が入ります。

電源を投入すると③電源表示ランプ(緑)および④プロテクト表示ランプ(赤)が点灯します。(この状態では、出力が遮断されています。) 3～5秒後にプロテクト表示ランプが消灯し、動作状態に入ります。

電源を切る場合には、スイッチを“OFF”側にしてください。

② ATT 入力アッテネータ

入力感度を+4dBsから可変できます。ミキサ、プリアンプ等の出力レベルに合わせて調節してください。(1dBステップ・クリックポジション付です。)

③ POWER(緑) 電源表示ランプ

電源スイッチ“ON”で点灯します。

④ PROTECT(赤) プロテクト表示ランプ

電源スイッチ“ON”で点灯し、3～5秒後に消灯して動作状態に入ります。また、保護回路が動作し、出力が遮断された時も点灯します。(ミューティング動作) 消灯しない場合は、何らかの異常が考えられますので、一旦電源を切って原因を調べてください。

⑤ SIGNAL(緑) CLIP(赤) シグナルインジケータ

信号レベルを表示します。

通常の使用状態ではSIGNALのランプが点滅します。

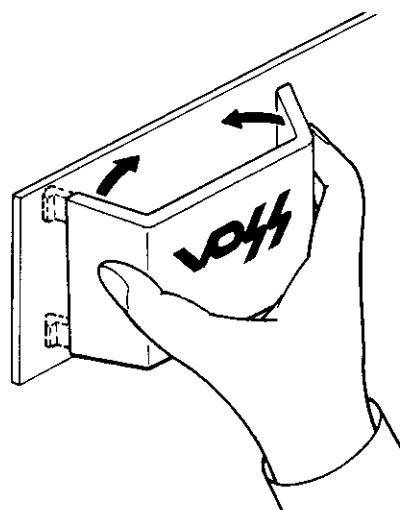
CLIPのランプは、出力がクリップすると点灯し、これ以上のレベルでは出力が歪みますので、CLIPランプが点灯しない範囲でお使いください。

⑥ 防塵カバー

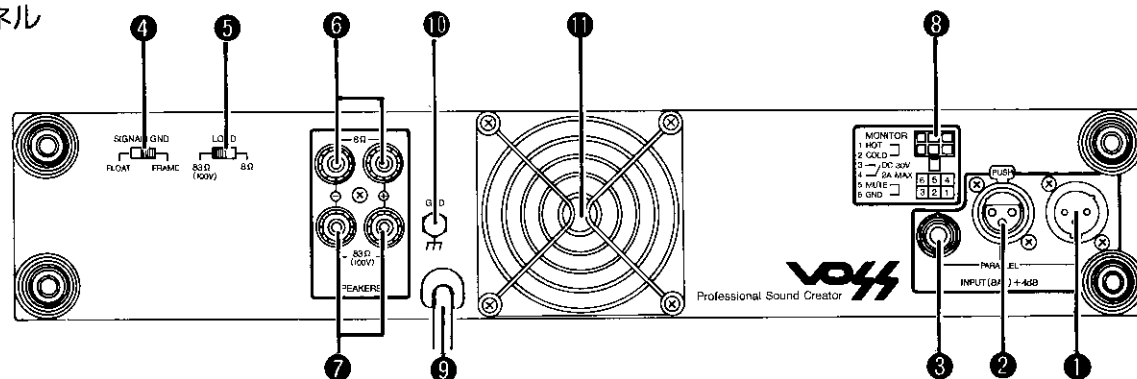
通風孔からほこり等が入り込むのを防ぎます。

取りはずして通風孔を掃除することができます。

防塵カバーを取りはずすときは、手でカバーの両側を矢印の方向におさえながら手前に引いてください。



■リアパネル



①②③ INPUT(BAL) 入力端子

平衡 +4 dBs 20kΩ

① キャンオンタイプコネクタ(XLR-3-32相当)

② キャンオンタイプコネクタ(XLR-3-31相当)

③ 6.3φステレオフオノジャック

のうちから入力端子を選べます。

①②③の入力端子は並列接続になっていますので、他のパワーアンプとの入力並列接続端子として使用できます。

(入力並列接続については⑥ページを参照)

④ SIGNAL GND シグナルグランド切換スイッチ FLOAT-FRAME

シグナルグランドをフレームグランド(筐体)に接続するか、切り離すかを切換えるスイッチです。通常は“FRAME”側に設定してください。

ご注意

- 本機を金属性ラックにマウントする場合に、ラックを経由して他の機器と導通してアースループが発生し、ハムノイズなどが出る場合があります。このような場合は、シグナルグランド切換スイッチを“FLOAT”側にしてください。

⑤ LOAD IMPEDANCE 負荷インピーダンス切換スイッチ

83Ω - 8Ω
(100V)

使用するスピーカに合わせてスイッチを切換えてください。出荷時は“83Ω”側になっています。

⑥ SPEAKERS スピーカ出力端子 8Ω

⑤の負荷インピーダンス切換スイッチが“8Ω”側にされているとき、このスピーカ出力端子が使用できます。

ご注意

適合負荷インピーダンスは8Ωです。
出力回路の並列接続はできません。

⑦ SPEAKERS スピーカ出力端子

83Ω
(100V)

⑤の負荷インピーダンス切換スイッチが“83Ω”(100V)側にされているとき、このスピーカ出力端子が使用できます。

100Vライン用の出力端子で120W(83Ω)まで使用できます。

⑧ MONITOR モニター出力端子(6ピン)

外部から本機の出力を制御・監視するときなどに使用します。

(モニター出力端子の接続については⑦ページを参照)

⑨ 電源コード

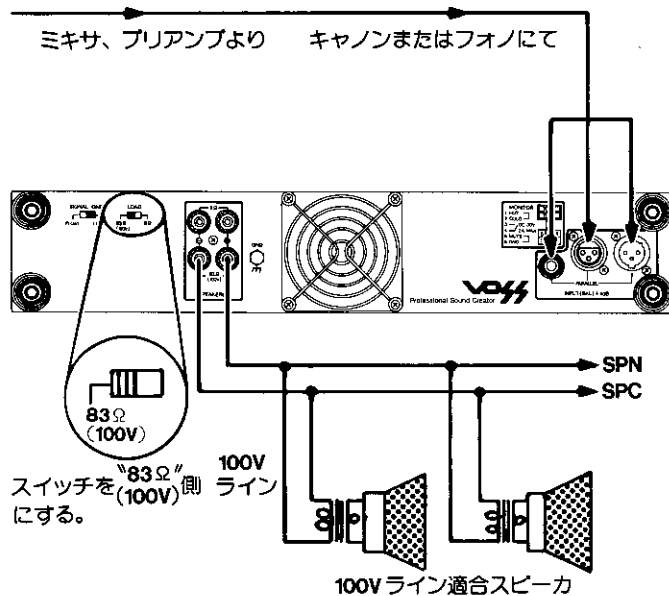
⑩ GND グランド端子

⑪ 強制空冷ファン

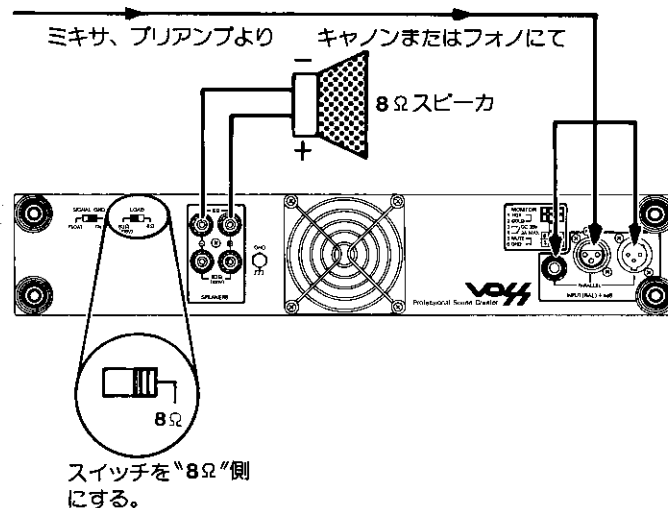
大出力時には高速回転に切換わる2ステップ・スピード・ファンです。

接続のしかた

■ 83Ω (100V ライン)としてご使用されるとき



■ 8Ωとしてご使用されるとき

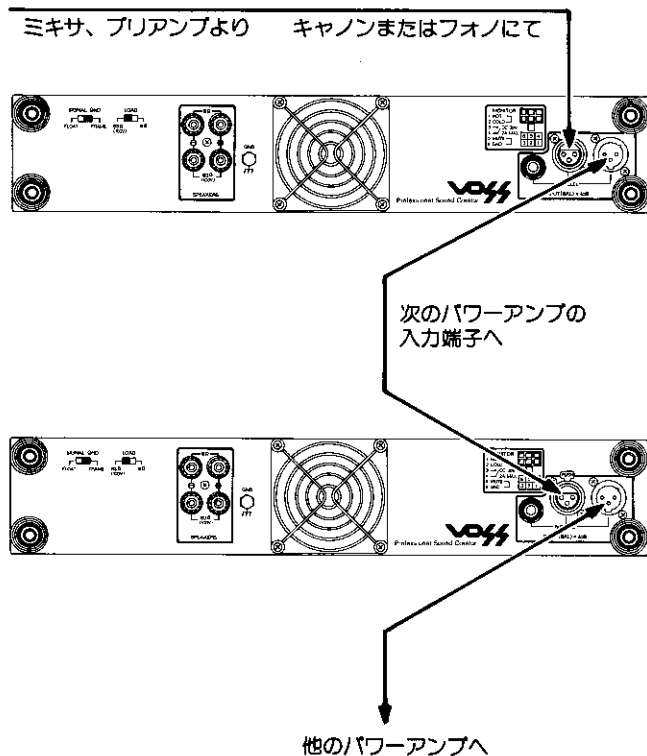


ご注意

- 接続するスピーカのワット数合計は **120W** を超えないようにしてください。

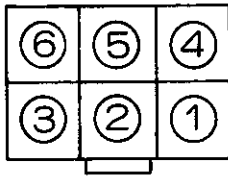
■ 入力の並列接続について

接続可能台数は最大 **10** 台です。(ミキサ出力インピーダンス **600Ω** 時)



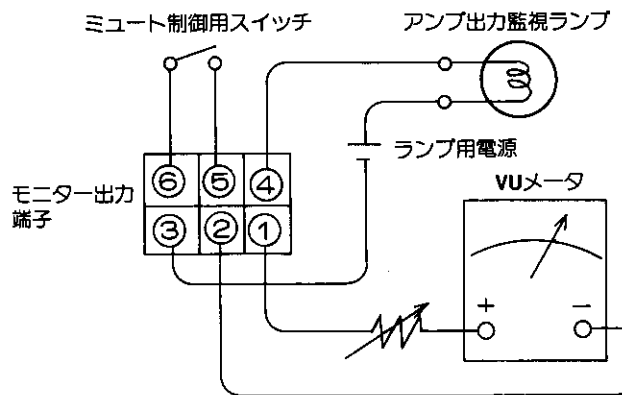
■モニター出力端子の接続について

(1)ピンの配列と働き



ピン番号	名 称	働 き
①	HOT	モニター出力 定格出力時（負荷 $83\Omega \cdot 120W = 100V$ 又は負荷 $8\Omega \cdot 120W = 32dBs$ ）に + 4dBs の信号が出力されます。 接続するモニター機器（VU メータ等）の入カインピーダンスは $7.5k\Omega$ 以上でご利用ください。
②	COLD	
③	タ リ ー 出 力	出力ミュートイングリレーと連動するリレー接点です。保護回路が動作して出力が遮断されている状態（"PROTECT"点灯）のときブレイクします。 （接点容量DC30V 2Aまで）
④		
⑤	MUTE	ミュートイング ⑤～⑥間をショートすると保護回路が動作して、出力が遮断されます。（"PROTECT"が点灯します。）再び⑤～⑥間をオープンにすると、3～5秒後に出力ミュートイングは解除されます。（"PROTECT"が消灯します。）
⑥	GND	

(2)接続例



- 電源が"ON"になってミュートイングが解除されるとアンプ出力監視ランプが点灯します。
- 入力信号が加わるとVUメータが振れます。
- アンプが異常発熱または故障して保護回路が動作し、出力が遮断されるとアンプ出力監視ランプが消灯し、VUメータも振れません。
- ミュート制御用スイッチをショートすると保護回路が動作し、出力が遮断されます。

■接続ケーブル

入力コネクタの配線は次のようにしてください。

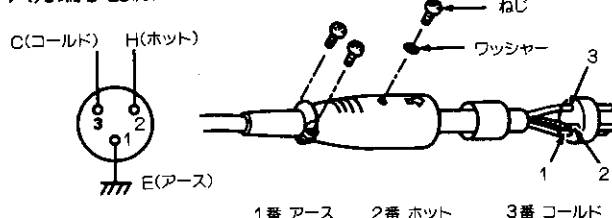
XLRタイプコネクタの場合

- 1 番：アース
- 2 番：ホット
- 3 番：コールド

6.3φステレオフォノプラグの場合

- スリ ー プ：アース
- チ ッ プ：ホット
- リ ン グ：コールド

入力端子配線



ご注意

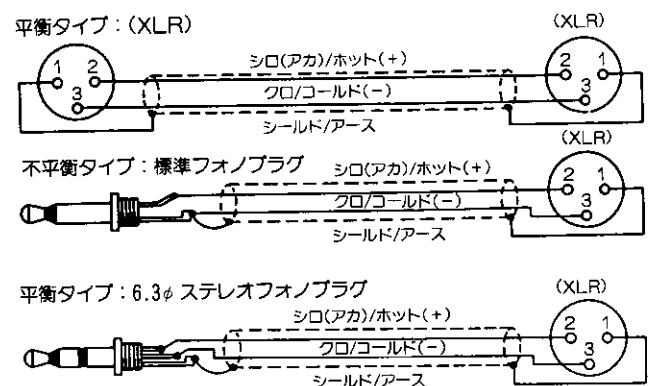
- モニター出力端子の接続コネクタは本機に添付されていません。モニター端子を使用する場合にはコネクタワイヤー Ass'y を別途購入（サービス部品扱い）してください。

品 番	品 名	備 考
SS48294-00A	コネクタワイヤー Ass'y	ハウジング、ピン、ワイヤー1m付

尚、コネクタワイヤー Ass'y を現地で製作する場合は、下記の部品を用意願います。

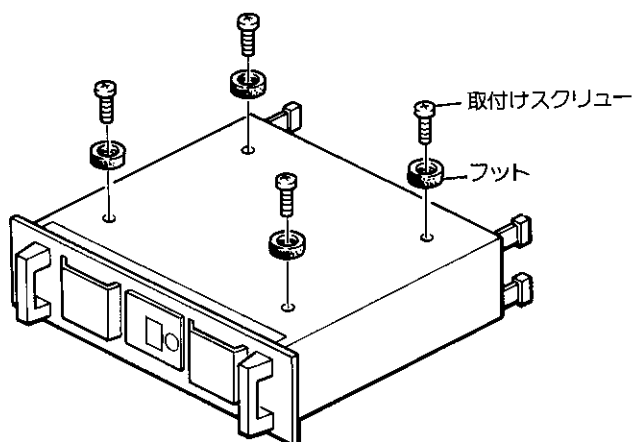
品 番	品 名
モレックス社：5557-06R	ハウジング
モレックス社：5556T	ピン

接続ケーブルを製作する時は下図を参考にしてください。



ラックへの組み込みについて

- 底面のフット取付けスクリュー4本をプラスドライバーで外し、フットを外してください。
- ラックに組み込む場合は、放熱効果をよくするためにパワーアンプの上下に1H以上のブランクパネル（PS-B1, PS-B2, PS-B3）を挿入するか、1H以上のすきまを取ることをおすすめします。



■ EIA ラック(PS-R41)への組み込みについて

- EIA ラック(PS-R41)をご使用されるときは、放熱効果をよくするためファンユニット(PS-R413)を必ず 2 台、ラックの上面内側に取付けてください。

取り付け方は、下記の手順に従ってください。

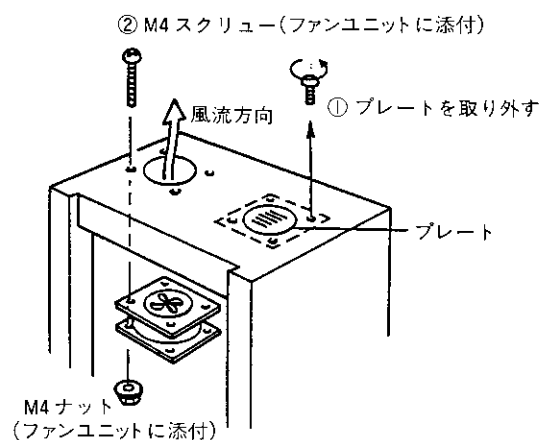
- ① トップカバーのプレートを取り外します。
- ② ファンユニットは添付のスクリューを利用し、トップカバーへ取付けます。

(ファンユニットの取付けはしっかりと行ってください。ファンユニットとトップカバーの間にすき間があると、ファン回転中に騒音を発する恐れがあります。)

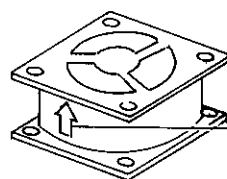
- ③ パワーコード接続

ファンユニットとパワーコードの接続は差し込み式になっておりますので、十分差し込んで使用してください。

(差し込み不十分ですと、ファンユニットの故障の原因になる場合もあります。)

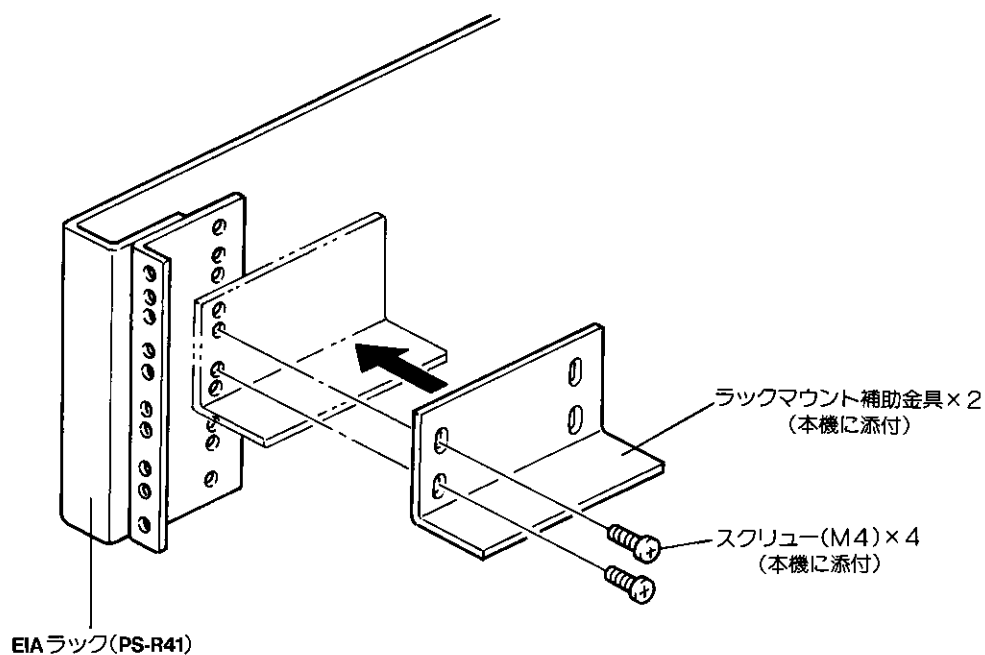


ラック外部へ風が流れるようにファンユニットを取り付けます。



- 組み込み可能な PS-A121 の台数は、最大 10 台です。

- EIA ラック(PS-R41)のユニット組み込み位置の左右両側に、本機に添付されているラックマウント補助金具を添付のスクリーン(M4)で取付け後、ユニットを組み込みます。



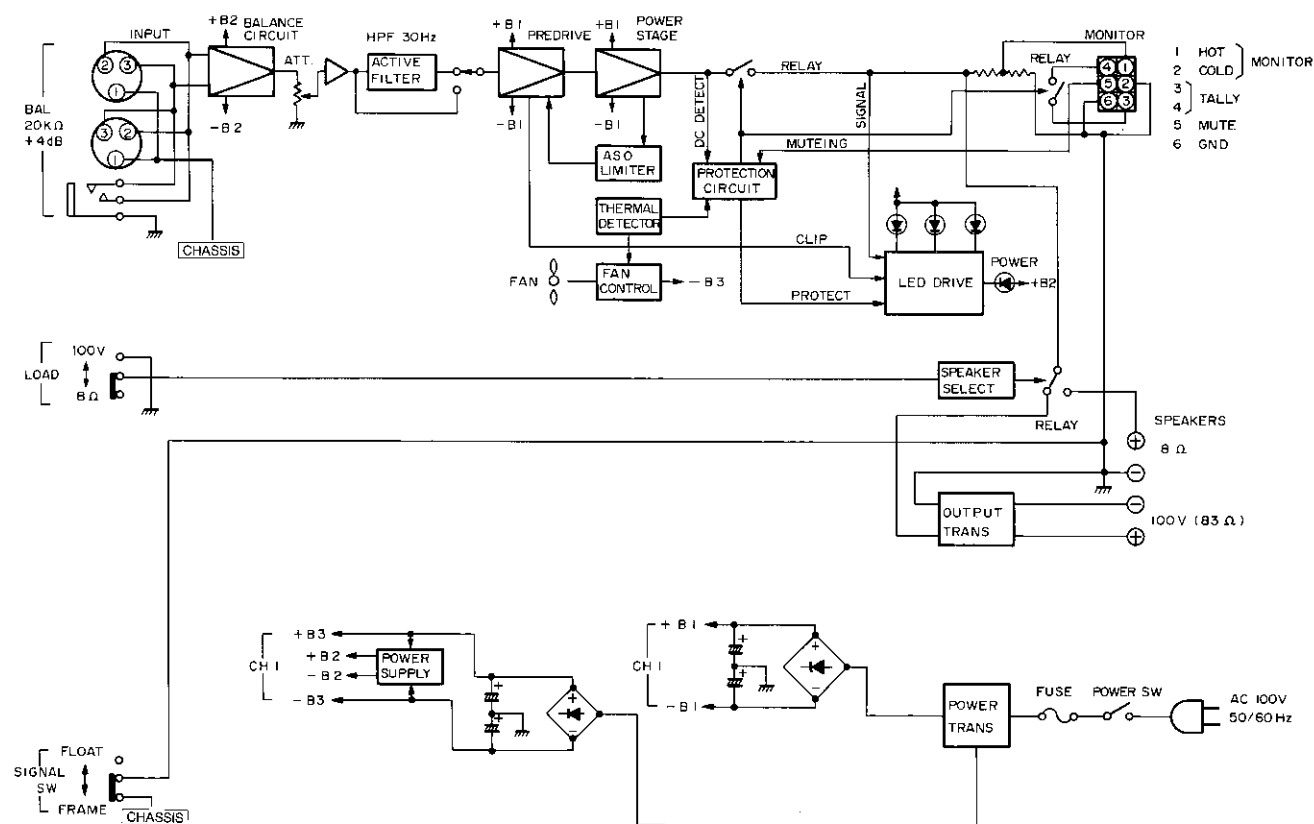
■システムラック(PS-R20)への組み込みについて

- システムラック(PS-R20)にパワーアンプを組み込まれるとき、パワーアンプの組み込み台数のⒶ消費電力の合計が **600W** を超えないようにしてください。
- 組み込み可能な **PS-A121** の台数は、最大 **3** 台です。

— ご注意 —

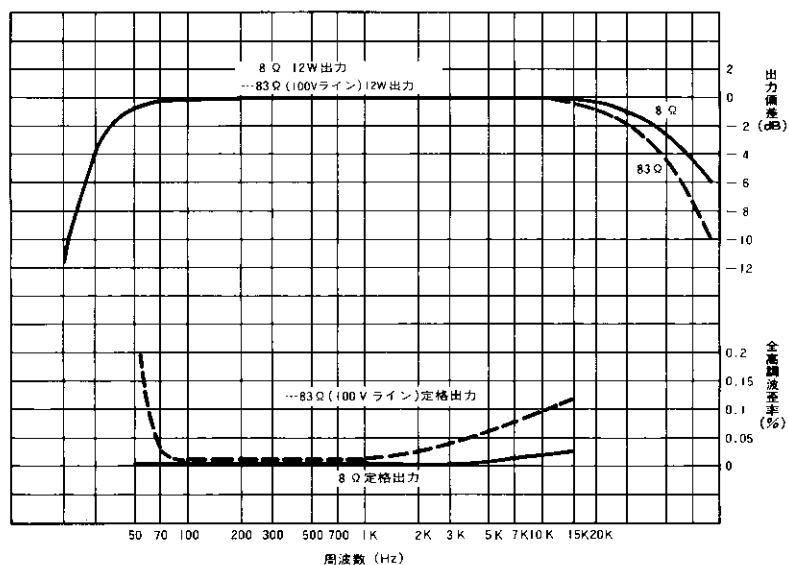
システムラック(PS-R20)に、ファンユニット(PS-R413)を取付けることはできません。

ブロックダイアグラム

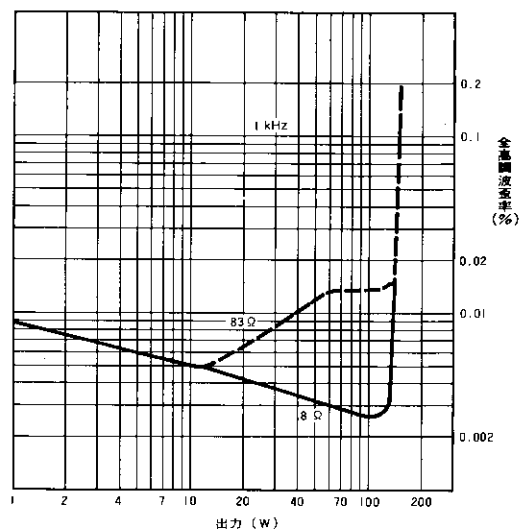


特性図

■周波数対出力歪率特性



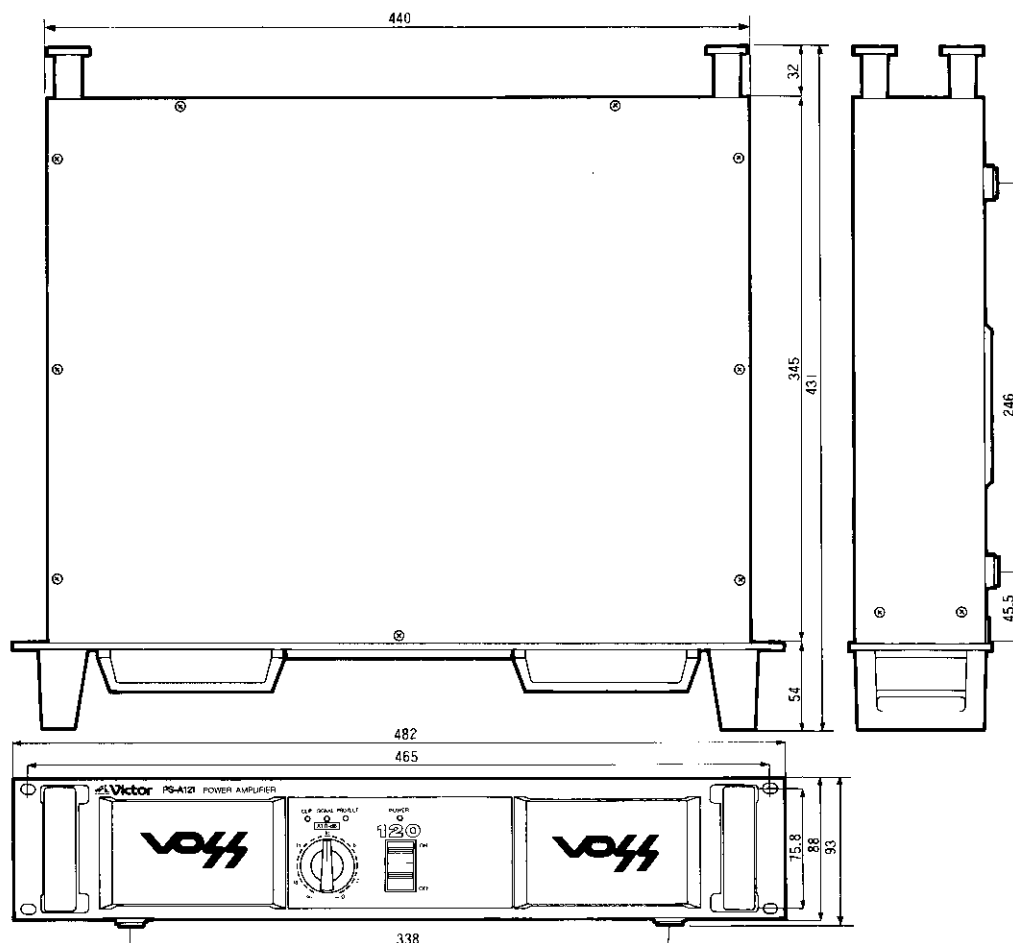
■出力対歪率特性



仕様

回路方式	MOS FETドライブ、パワートランジスタピュアコンプリメンタリプッシュプル		
定格出力	120W(50Hz~18kHz、0.2%、83Ω・100Vライン、EIAJ) 120W(50Hz~18kHz、0.05%、8Ω、EIAJ)		
全高調波歪率	0.2%(50Hz~18kHz、120W、83Ω・100Vライン) 0.05%(50Hz~18kHz、120W、8Ω)		
周波数特性	50Hz~18kHz ±1dB		
S N 比	100dB以上 (IHF-A 入力短絡)		
入力感度	+4dBs (0dBs = 0.775V)		
電圧増幅度	28dB		
入力インピーダンス	20kΩ(平衡)、20kΩ(不平衡)		
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電力	⊕100W、定格出力時230W		
外形寸法	482(幅)×93(高さ)×431(奥行)mm		
重量	14.5kg		
仕上	フロントパネル：黒色アルマイト仕上 マンセルN1近似 その他：黒色半艶塗装 マンセルN1近似		
付属品	ラックマウント用スクリュー(M5) … 4 ラックマウント用ワッシャー …… 4 ラックマウント補助金具 …… 2 補助金具取付け用スクリュー(M4) … 4	添付物	保証書 …… 1 ビクターサービス窓口案内 … 1 取扱説明書 …… 1

外觀寸法図



本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。



お客様ご相談センター

〒113 東京都文京区本郷 3-14-7 ビクター本郷ビル 電話 (03) 5684-9311

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル 電話 (06) 765-4161

特機事業部

〒192 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (0426) 42-4111(代)